



平成29年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月14日

上場会社名 コーセル株式会社
 コード番号 6905 URL <http://www.cosel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 谷川 正人
 (氏名) 小西 有吉
 配当支払開始予定日

TEL 076-432-8151
 平成29年2月2日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第2四半期の連結業績(平成28年5月21日～平成28年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第2四半期	10,573	△6.3	1,491	△9.3	1,573	△8.5	1,117	△7.4
28年5月期第2四半期	11,289	3.7	1,643	△13.6	1,719	△15.9	1,206	△13.7

(注) 包括利益 29年5月期第2四半期 976百万円 (△22.9%) 28年5月期第2四半期 1,267百万円 (△19.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第2四半期	30.65	—
28年5月期第2四半期	32.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第2四半期	40,314	37,094	92.0	1,017.33
28年5月期	39,568	36,412	92.0	998.65

(参考) 自己資本 29年5月期第2四半期 37,076百万円 28年5月期 36,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	13.00	—	8.00	21.00
29年5月期	—	10.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年5月21日～平成29年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,830	1.1	2,690	16.7	2,800	17.5	1,930	15.4	52.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年5月期2Q	37,212,000 株	28年5月期	37,212,000 株
29年5月期2Q	767,258 株	28年5月期	767,222 株
29年5月期2Q	36,444,748 株	28年5月期2Q	37,179,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(第2四半期決算補足説明資料の入手方法)

第2四半期決算補足説明資料は、平成28年12月14日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は横ばいで推移いたしましたが、円高の進行による企業収益の下振れ等もある中、設備投資においては一部で回復の動きが出てきております。海外においては、米国経済は堅調に推移し、アジア経済は韓国が景気回復基調にあるものの、中国は緩やかな減速、その他地域では不透明な状況が続いています。ヨーロッパ経済は緩やかに景気回復しているものの、英国のEU離脱決定による先行き不透明感は続いています。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォン・コンピュータ用ハードディスク・自動車関連で使用される半導体メモリや有機EL（ディスプレイ、照明等に使用）向けの半導体製造装置の需要が拡大してきております。

このような情勢の中で当社グループは、営業－開発部門の連携を強化しつつ、新製品を軸とした重点顧客への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、小型・高効率パワーモジュール電源（安定型バスコンバータ）「CHS120」、三相交流入力用ノイズフィルタ「FSBシリーズ」「TAHシリーズ」、小型汎用DC－DCコンバータ「MGシリーズ」、小型・高効率モジュールタイプAD－DCコンバータ「TUXS200F」をそれぞれ市場投入いたしました。

開発・生産面では、品質保証体制の再構築に取り組み、部品不良及び工程内不良の低減に注力してまいりました。また、当社独自のパワー回路技術やデジタル制御技術、通信技術を応用した新製品開発力の強化を推進するとともに、自社開発生産設備を工場展開し、品質向上・生産性の改善を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は113億75百万円（前年同期比2.8%増）、売上高は105億73百万円（同6.3%減）となりました。利益面におきましては、経費削減活動を展開しコスト削減に努めてまいりましたが、円高の進行による影響で、経常利益は15億73百万円（同8.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億17百万円（同7.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、半導体製造装置、及び携帯基地局等の通信機器需要が増加し、医用機器需要も堅調に推移いたしました。また、一般産業機械向け需要も回復基調にあります。

このような情勢の中、営業－開発部門の連携を強化し、新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、82億8百万円（前年同期比0.8%増）、セグメント利益は13億9百万円（同8.2%減）となりました。

②北米販売事業

米国では、個人消費や雇用環境の改善などを背景に景況は堅調に推移したものの、当社においては、制御機器を中心とした一般産業機器を中心に需要は低迷いたしました。

このような情勢の中、ファクトリーレップとの連携強化による新規プロジェクト、新規顧客の獲得を重点に営業活動を展開してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、8億71百万円（前年同期比39.6%減）、セグメント利益は13百万円（同81.4%減）となりました。

③ヨーロッパ販売事業

ヨーロッパでは、緩やかな景気回復基調で推移したものの、当社においては、一般産業機器の需要は低迷いたしました。一方で、医用機器の需要は回復基調にあります。

このような情勢の中、重点ディストリビューターとの連携を強化し、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、3億61百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益は5百万円（同7.7%減）となりました。

④アジア販売事業

中国では、引き続き景気減速傾向が続いておりますが、当社においては、一般産業機器、半導体製造装置関連の需要が大きく伸びました。

このような情勢の中、制御機器・医用機器等のターゲット業界・顧客を絞り、新規プロジェクト獲得、新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、11億31百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は47百万円（同23.7%減）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業においては、画像検査装置を導入するなどして品質強化に取り組むとともに、SMTライン及び組立ラインを増設し、生産能力の増強を図ってまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、3億77百万円（前年同期比21.1%減）、セグメント利益は68百万円（同0.3%増）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成28年11月20日)	
	受注高(百万円)	対前年同期増減率	受注残高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	7,230	2.7%	1,852	25.7%
オンボード電源	3,678	2.9%	1,305	70.6%
ノイズフィルタ	466	2.6%	80	12.6%
合計	11,375	2.8%	3,239	40.2%

2) 売上高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)	
	売上高(百万円)	対前年同期増減率
ユニット電源	6,850	△4.2%
オンボード電源	3,283	△11.4%
ノイズフィルタ	440	1.4%
合計	10,573	△6.3%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は242億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億47百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が13億19百万円、受取手形及び売掛金が4億93百万円、有価証券が20億67百万円増加した一方で、たな卸資産が3億70百万円、繰延税金資産が1億19百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は160億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億1百万円減少いたしました。これは、投資有価証券が25億98百万円減少したことが主因であります。

この結果、総資産は、403億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億45百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は29億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは、買掛金が1億74百万円、未払法人税等が44百万円増加した一方で、未払金が2億2百万円、製品保証引当金が13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、2億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は32億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は370億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億81百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益11億17百万円及び剰余金の配当2億91百万円により、株主資本が8億25百万円増加し、為替換算調整勘定等によりその他の包括利益累計額が1億44百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は92.0%（前連結会計年度末は92.0%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億63百万円減少し、59億86百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、14億33百万円（前年同期比21.0%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益15億72百万円（同8.5%減）に加え、減価償却費3億31百万円（同15.9%減）、たな卸資産の減少額3億33百万円（同187.4%増）、仕入債務の増加額2億45百万円（同155.0%増）を計上した一方で、退職給付に係る負債の減少額1億15百万円（前年同期は増加額49百万円）、売上債権の増加額5億64百万円（前年同期は減少額1億43百万円）、法人税等の支払額3億16百万円（前年同期比53.9%減）があったことを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、13億21百万円（前年同期比76.1%増）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入5億円（同69.7%減）がありましたが、投資有価証券の取得による支出15億円（同26.2%減）、有形固定資産の取得による支出3億19百万円（同12.8%減）があったことを反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億94百万円（前年同期比39.1%減）となりました。これは主に、配当金の支払額2億91百万円（同39.8%減）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況や今後の経済環境、市場動向を勘案し、通期の業績予想を見直した結果、平成28年6月13日の「平成28年5月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

参考：平成29年5月期通期業績予想（平成28年6月13日公表）

	連結業績予想		個別業績予想	
	金額（百万円）	対前連結会計年度増減率	金額（百万円）	対前事業年度増減率
売上高	21,830	1.1%	20,520	2.4%
営業利益	2,690	16.7%	2,500	33.7%
経常利益	2,800	17.5%	2,660	32.8%
（親会社株主に帰属する） 当期純利益	1,930	15.4%	1,830	30.6%

なお、通期業績予想の前提となる為替レートは、1 USドル=103.10円、1ユーロ=115.20円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,967,312	6,286,901
受取手形及び売掛金	6,663,372	7,157,267
有価証券	6,082,964	8,150,145
商品及び製品	762,284	553,378
仕掛品	55,951	61,903
原材料及び貯蔵品	1,664,556	1,497,424
繰延税金資産	460,619	340,920
その他	230,057	185,103
貸倒引当金	△4,336	△2,627
流動資産合計	20,882,781	24,230,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,584,620	3,623,360
減価償却累計額	△2,613,424	△2,654,419
建物及び構築物（純額）	971,195	968,940
機械装置及び運搬具	5,935,673	6,078,368
減価償却累計額	△4,620,140	△4,739,908
機械装置及び運搬具（純額）	1,315,533	1,338,459
工具、器具及び備品	5,291,443	5,339,792
減価償却累計額	△4,952,924	△5,002,145
工具、器具及び備品（純額）	338,519	337,647
土地	1,119,440	1,143,940
有形固定資産合計	3,744,688	3,788,988
無形固定資産		
ソフトウェア	107,419	94,157
その他	14,677	12,773
無形固定資産合計	122,096	106,930
投資その他の資産		
投資有価証券	14,583,298	11,984,841
繰延税金資産	90,449	60,669
その他	145,580	142,902
投資その他の資産合計	14,819,328	12,188,413
固定資産合計	18,686,114	16,084,332
資産合計	39,568,895	40,314,748

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	805,290	979,438
未払金	497,822	295,547
未払法人税等	334,472	379,097
賞与引当金	354,809	357,864
製品保証引当金	506,000	493,000
その他	380,564	441,149
流動負債合計	2,878,959	2,946,096
固定負債		
退職給付に係る負債	221,781	109,069
繰延税金負債	893	1,257
その他	54,500	164,089
固定負債合計	277,175	274,416
負債合計	3,156,134	3,220,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,350
利益剰余金	32,630,491	33,455,949
自己株式	△804,465	△804,502
株主資本合計	36,169,375	36,994,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,193	235,551
為替換算調整勘定	92,277	△155,753
退職給付に係る調整累計額	3,807	1,903
その他の包括利益累計額合計	226,278	81,701
非支配株主持分	17,106	17,736
純資産合計	36,412,760	37,094,235
負債純資産合計	39,568,895	40,314,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月21日 至平成27年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)
売上高	11,289,303	10,573,930
売上原価	7,586,181	7,465,628
売上総利益	3,703,121	3,108,302
販売費及び一般管理費	2,059,148	1,617,029
営業利益	1,643,973	1,491,272
営業外収益		
受取利息	34,677	32,765
受取配当金	23,165	30,462
為替差益	5,153	4,374
受取補償金	6,220	24
その他	6,292	15,274
営業外収益合計	75,509	82,902
営業外費用		
その他	38	420
営業外費用合計	38	420
経常利益	1,719,444	1,573,755
特別利益		
固定資産売却益	137	197
特別利益合計	137	197
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	1,456	1,372
特別損失合計	1,467	1,372
税金等調整前四半期純利益	1,718,113	1,572,580
法人税、住民税及び事業税	527,038	346,140
法人税等調整額	△20,844	103,762
法人税等合計	506,194	449,903
四半期純利益	1,211,919	1,122,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,784	5,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,206,134	1,117,016

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月21日 至平成27年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月21日 至平成28年11月20日)
四半期純利益	1,211,919	1,122,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,720	105,357
為替換算調整勘定	20,514	△249,898
退職給付に係る調整額	29,848	△1,903
その他の包括利益合計	55,083	△146,443
四半期包括利益	1,267,002	976,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,261,393	972,439
非支配株主に係る四半期包括利益	5,609	3,793

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月21日 至 平成27年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月21日 至 平成28年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,718,113	1,572,580
減価償却費	393,992	331,360
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,718	△1,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△57,105	3,054
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	114,000	△13,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	49,141	△115,102
受取利息及び受取配当金	△57,842	△63,228
為替差損益 (△は益)	843	△7,575
有形固定資産売却損益 (△は益)	△126	△197
有形固定資産除却損	1,456	1,372
売上債権の増減額 (△は増加)	143,284	△564,530
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	2,403	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	116,048	333,569
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,244	245,382
その他	△80,923	△37,645
小計	2,436,811	1,684,639
利息及び配当金の受取額	62,029	64,915
法人税等の支払額	△685,019	△316,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,813,822	1,433,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△366,375	△319,534
有形固定資産の売却による収入	826	354
投資有価証券の取得による支出	△2,034,214	△1,500,300
投資有価証券の償還による収入	1,650,000	500,000
その他	△615	△2,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750,378	△1,321,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△36
配当金の支払額	△483,616	△291,298
非支配株主への配当金の支払額	—	△3,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△483,616	△294,498
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,828	△180,829
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	601,656	△363,311
現金及び現金同等物の期首残高	6,989,113	6,350,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,590,769	5,986,901

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年5月21日 至 平成27年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,144,918	1,442,829	426,319	1,275,234	—	11,289,303	—	11,289,303
セグメント間の 内部売上高	2,356,196	—	—	173,148	477,997	3,007,342	△3,007,342	—
計	10,501,115	1,442,829	426,319	1,448,383	477,997	14,296,645	△3,007,342	11,289,303
セグメント利益	1,426,411	70,892	6,349	61,765	68,140	1,633,559	10,413	1,643,973

(注) 1. セグメント利益の調整額10,413千円は、セグメント間の取引消去24,661千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△14,247千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年5月21日 至 平成28年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,208,882	871,614	361,941	1,131,492	—	10,573,930	—	10,573,930
セグメント間の 内部売上高	1,690,498	—	—	—	377,257	2,067,755	△2,067,755	—
計	9,899,381	871,614	361,941	1,131,492	377,257	12,641,686	△2,067,755	10,573,930
セグメント利益	1,309,142	13,174	5,858	47,146	68,332	1,443,653	47,619	1,491,272

(注) 1. セグメント利益の調整額47,619千円は、セグメント間の取引消去4,174千円及び棚卸資産の未実現損益の消去43,444千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。